

◆ 「もしバナゲーム」の振り返り

*自分自身の価値観を考えてみてどのように感じましたか

*他者との話し合いを通じてどのように感じましたか

◆◆ 意見

・とても面白かった。選んだ3つのカードひとつひとつでなく、3つのカードの繋がりや関係性からその人の持っている価値観や物語のようなものが、3つの組み合わせから出てくるような気がした。

3枚それぞれについて、4名とも「そうだよ」と納得していたが、ゲームをする前からそのことが言葉にできていたかという私はできていなかった。

カードを使うことで思いや価値観が言語化できた。家族や医療関係者以外ともやってみたい。

・私のグループでは祈るというカードがキーになった。

日本人は無宗教で、継るものもないし祈る人も少ない。病気や認知症状が進行し、やるせない日々を過ごす。サポートする人はたくさんいるが、その人の心を救うにはどうしていったらいいのか、どうすればいいのか。といった話になった。

▶ 神社へのお参りや仏壇に線香を立てるといった普段皆さんが行っている行為、すでに祈っているし、宗教関係の行動になる。宗教としての行いを自分で勝手にしている。

・人生の先を行っておられる方は具体的な話が出て、自分は抽象的な自分勝手なカードになった。こういった話をする事で自分が想像していないような具体的な話が出て楽しかった。

・自分はスピリチュアルなものを選んだ。なんでもかんでも神頼みにするのは少し違って、人間は皆亡くなるし、亡くなったら天国に行くという考えでいる。

私は、どうやって死にたいとか、どういうことをしてほしいかなど初診患者さんにも聞いたりする。いずれ聞かなければいけないし、避けては通れない、考えれば考えるほど言えなくなるので。

地域柄なのか、山陰はオブラートに包んでいる気がする。人それぞれ医者次第かもしれない。いずれは、ぱぱぱっと言えるようになるのかなと思っている。

このゲームは面白かった。想定している病気によってだいぶ選ぶカードも違うと思う。がんの末期や事故でなくなってしまうとき、心不全のときなど…。